

# 家庭学習の手引き

## 各家庭で身に付けたい力



古河市立大和田小学校

保護者版

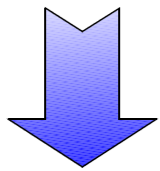
小学校の学習は、生涯にわたる学習の基礎となるものです。特に、「読むこと」「書くこと」「計算すること」は日常生活において欠かすことのできない「生きるための力」の一つです。学校では、この生きる力の基となる基礎学力を身に付けるために努力しています。さらに、その力を高め、確実にするためには家庭学習が必要になります。この家庭学習の手引きを活用して、家庭学習の習慣化を進めていきましょう。



### (目標)

- ◆低学年：家でも学習する習慣を身に付けよう。
- ◆中学年：自主的な学習も少しずつできるようにしよう。
- ◆高学年：自主的に学習できる力を身に付けよう。

**学習時間のめやす**  
**10分×学年+10分**



### ◆◆◆ 学力アップは規則正しい生活から ◆◆◆

- 早ね・早起き・朝ごはん(すいみん9時間以上)
- テレビ・TVゲーム等のメディアは時間を決めて(多くても1時間までに)
- 曜日はスイッチオフの日(テレビ・ゲーム・携帯・スマホ)
- 自分で明日の学習準備をするように鉛筆を毎日けずって!

- ◆学習に集中できるようにするには
  - ・テレビや音楽を消して
  - ・机の上を整理整頓して
  - ・部屋を明るくして



### 習慣付けの1年生

- ① ひらがな・かたかなの清音が読めて書ける。
- ② 助詞(へ・を・は)の使い方が分かる。
- ③ たし算・ひき算ができる。
- ④ 100までの数を順に並べたり、大小を比べたりできる。
- ⑤ 80字の配当漢字のすべてが読め、9割の漢字が書ける。
- ⑥ 鉛筆を正しく持って字が書ける。

### 基礎力定着の2年生

- ① 160字の配当漢字のすべてが読め、9割の漢字が書ける。
- ② 順序よく話をするができる。
- ③ 2桁、3桁のたし算・ひき算ができる。
- ④ 九九がすらすら言える。
- ⑤ 定規を使って筆算をきれいに書きながら計算ができる。
- ⑥ 決められた長さの直線を正しく引ける。

### 分岐点を乗り越える3年生

- ① 200字の配当漢字のすべてが読め、9割の漢字が書ける。
- ② 国語辞典を使って語句やことわざの意味を調べることができる。
- ③ 短い詩が暗唱できる。
- ④ 主語と述語の意味が分かる。
- ⑤ 日常的な単語をローマ字で読み書きできる。
- ⑥ かけ算・わり算ができる。
- ⑦ はかりを使って重さがよめる。
- ⑧ コンパスを使って簡単な図形が書ける。

### 「9歳の壁」を破る4年生

- ① 202字の配当漢字のすべてが読め、9割の漢字が書ける。
- ② 文と文のつながりを考えながら、指示語や接続語を使う。
- ③ 国語辞典・漢和辞典を正しく使える。
- ④ わり算の筆算ができる。
- ⑤ 小数のかけ算・わり算ができる。
- ⑥ 分母が同じ分数のたし算・ひき算ができる。
- ⑦ 地図を使って見知らぬ場所や地名が調べられる。
- ⑧ 47都道府県の位置が分かり、名称を正しく書ける。

### 大きな差がつく5年生

- ① 193字の配当漢字のすべてが読め、9割の漢字が書ける。
- ② 今まで習った漢字を使った熟語の8割が書ける。
- ③ 小数のかけ算・わり算ができる。
- ④ 分数のたし算・ひき算・かけ算・わり算ができる。
- ⑤ 割合・百分率を使った問題が解ける。
- ⑥ 図形(三角形・平行四辺形など)の面積が求められる。
- ⑦ 世界の主な大陸と海洋名、国々の位置が分かる。
- ⑧ 理科の実験道具(顕微鏡など)の正しい扱い方を知っている。
- ⑨ パソコンでローマ字入力ができる。

### 中学生生活を左右する6年生

- ① 小学校で習得すべき漢字のすべてが読め、9割の漢字が書ける。(6年生では191字)
- ② 小学校で習う漢字を使った熟語の8割を正しく書ける。
- ③ 国語辞典ですらすら語句調べができる。
- ④ 分数・小数の混合計算ができる。
- ⑤ 既習事項(公式・割合・単位の換算など)を生かして、文章問題を解くことができる。
- ⑥ 歴史上の事件や人物、政治の働きなどについて、だいたい説明できる。
- ⑦ 歴史に残る古文のいくつかにふれ、暗唱できる。
- ⑧ 47都道府県の位置や県庁所在地名が分かり、正しく書ける。
- ⑨ 世界の主な国々の位置を正しく示せる。
- ⑩ 理科の実験道具の正しい扱い方を知っている。

### 読書活動の推進

子供の読書活動は、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、想像力を豊かなものにし、人生をよりよく深く生きる力を身に付けていく上で欠くことのできないものです。大和田小学校でも、子供たちが自主的に読書活動を行うことができるよう、読書の時間の確保や学校図書館の整備を推進してまいります。家庭での声かけも、ぜひお願いいたします。

学力向上は家庭学習の習慣化から



### 生活の中で、見えない学力をつけよう

- さまざまなジャンルの読書に取り組む。
- 国語辞典や図鑑類を身近において調べる。
- 日本地図・世界地図を身近において調べる。
- 地球儀をテレビの隣に置いて確認する。
- ニュース番組を家の人と一緒に見て、話し合おう。
- 新聞を読む。
- 百人一首など詩歌の暗唱をする。
- 将棋やオセロなどの頭を使うゲームをする。
- 自然や生き物とふれあい、詳しく観察する。
- 家の仕事を進んでやる。

